

あしおともたてず 悪友霜を来ぬ  
飯田蛇笏

『家郷の霧』（昭和三二）所収。細田壽郎の文章によれば、「このモデルは先生の幼な友達豆腐屋で、彼が先生に借金を申しこんできた折の感慨だった」「雲母」（平成四・六）そうである。迷惑に思わなくもない、しかしどうしようもなく懐かしい。「悪」一字に籠められた思いは深い。「冬ぬくく友愛をわがこころの灯」『雪峽』も代表作。高浜虚子門。【霜・冬】

澤 11月号目次

澤通信句会のお知らせ……………4

小澤 實 クリアファイル 十五句……………8

高橋睦郎 季語練習帖 第一四三回……………10

潺潺集 小澤 實選……………12

頬 戸田いぬぶぐり

陶の風鈴 上村雛子

日の盛 東徳門百合子

岳の赤きへ 新澤 岳

欠片 竹村翠苑

副反応 望月とし江

五年 磯貝一沙

さやうなら 川上弘美

王ヶ頭 水谷り得子

右羽根 結城あき

フライパン 加納 燕

闘魚 高橋美穂子

服を脱げ 村上佳乃

すててこ 中村敏彦

夫抱きしめて 服部つぐみ

がつしり 戸谷照子

葉の色 栗生

澤俳句鑑賞 258

小島ゆかり……………18

石田秀子……………20

窓

俳書を読む

能村研三『神鶴』／小池康生『奎星』／岸本葉子『つちふ

る』／鴫田智哉『エレメンツ』／仁科 淳『妄想ミルフィ

ーユ』加納 燕……………22

詩文学芸書を読む

ベッティーナ・シユタングネット(香月恵里訳)『エルサ

レム(以前)のアイヒマン 大量殺戮者の平穏な生活』

根岸哲也……………24

総合誌俳句鑑賞

「俳句」九月号／「俳壇」九月号 柳元佑太……………26

俳句結社誌を読む

「秋草」令和三年五月号 大木由美子……………28

通信句会の秀句 村越 敦……………30

潺湲集巻頭作家インタビュー 美倉かな……………32

澤集巻頭作家エッセイ 今朝……………33

同人代表句 中山雅弘／生井敏夫……………34

同人一句鑑賞 山口刃心／服部つぐみ……………35

澤衍……………36

澤四十句 小澤 實選……………38

選後独言 動詞二つの句 小澤 實……………40

澤集 小澤 實選……………42

木内縉太／金澤諒和／野崎海芋／山口方眼子／中川ノエ／

周藤迪之相／白崎俊火／森下秋露／山中広海／汕としこ／

小澤たえみ／岡本春水／町田無鹿

正誤表……………75

消息……………76

10月号発送報告……………77

俳人協会編「俳句カレンダー」頒布のご案内……………78

「俳句を豊かにするもの」原稿募集のお知らせ……………79

澤俳句叢書一覧……………81

雑誌「澤」購読のご案内／購読料更新のお知らせ／

澤基金募集のお願い……………82

澤基金応募者芳名／投句のご案内……………83

澤句会・カルチャー一覧……………84

広告……………85 後記……………90

デザイン||玉井一平

澤  
令和3年11月1日発行  
澤 俳句会  
頒価 1,200円

表紙／小澤  
實著『秀句三五〇選友』より